

奥能登国際芸術祭企画公募 質疑応答

【プランの展開場所について】

Q：公募の企画は、具体的な場所を設定する必要があるか。

それともアイデアのみでエントリーし、具体的な場所は選出後に検討に入るか。

A：公募の企画は、具体的な場所を設定しても、しなくても問題ありません。具体的な場所を設定しても、諸事情（使用許可の問題など）によって場所を変更させていただくことがあります。具体的な場所の設定がない場合、選出後に場所の検討に入ります。

【予算について】

Q：提出する作品提案書に記載する予算案ですが、審査を通過した場合の交通費や現地滞在費、作品機材の輸送費を含める必要はありますか？もし含めない場合は、交通費や滞在費、輸送費はどのように扱われますか？

A：予算案には、現地までの交通費や現地滞在費、輸送費なども全て含まれます。現地滞在については、事務局で宿舍（相部屋のもの）を準備する予定です。

Q：上限 250 万円の予算には作品を制作する上での全て、例えば作品の翻訳コストや撤去費用なども含まれるか。

A：含まれます。

【選考について】

Q：選考の面接について、海外に住んでいる場合、直接お会いしなければならないか。WEBでのリモートなどの面接は対応可能か。

A：リモートなどの面接も可能です。

【提出書類等について】

Q：経歴書は日本語で記載しなければならないか？

A：日本語または英語で記載ください。

Q：提案書に、インターネットやSNSで掲載されている写真を使用する場合、著作権の有無など確認した上で使用しなければならないか？  
（イメージとして使用したい場合）

A：画像等を使用される場合は、画像の下に引用先を注釈として記載ください。